

表 1414 被囊性腹膜硬化症(EPS)の既往 治療方法(新分類)別(腹膜透析の経験があるか現在施行している患者)

治療方法 (新分類)	なし	あり(剥離手術既往あり、ステロイド使用歴あり)	あり(剥離手術既往あり、ステロイド使用歴なし)	あり(剥離手術既往なし、ステロイド使用歴あり)	あり(剥離手術既往なし、ステロイド使用歴なし)	合計	不明	記載なし	総計
施設血液透析	5,051 (%)	376 (91.2)	12 (6.8)	56 (0.2)	46 (1.0)	5,541 (100.0)	198	730	6,469
Off-line HDF	205 (%)	15 (92.3)	1 (6.8)	1 (0.5)	1 (0.5)	222 (100.0)	7	28	257
On-line HDF	1,036 (%)	89 (90.1)	2 (7.7)	8 (0.2)	15 (0.7)	1,150 (100.0)	27	131	1,308
Push/Pull HDF	2 (%)					2 (100.0)	1		3
バイオフィルトレーション	7 (%)					7 (100.0)		2	9
血液濾過	1 (%)					1 (100.0)			1
血液吸着透析 (リクセル)	46 (%)	8 (79.3)	1 (13.8)		3 (1.7)	58 (5.2)	4	3	65
血液吸着透析 (その他)									
在宅血液透析	72 (%)	1 (98.6)				73 (100.0)		4	77
腹膜透析 (CAPD)	3,092 (%)	23 (99.2)		2 (0.7)	1 (0.1)	3,118 (0.0)	34	1,869	5,021
腹膜透析 (APD)	1,909 (%)	10 (99.4)			1 (0.5)	1,920 (0.1)	16	903	2,839
腹膜透析 (CCPD)	768 (%)	3 (99.4)		1 (0.4)	1 (0.1)	773 (0.1)	17	291	1,081
合計	12,189 (%)	525 (94.7)	16 (4.1)	68 (0.1)	67 (0.5)	12,865 (100.0)	304	3,961	17,130
記載なし (%)									
総計	12,189 (%)	525 (94.7)	16 (4.1)	68 (0.1)	67 (0.5)	12,865 (100.0)	304	3,961	17,130

数値下のカッコ内は行方向の合計に対する%です。

*腹膜透析(CCPD)は、APDと手動のバック交換の両方を行うもの

(C)Japanese Society for Dialysis Therapy

2014年調査